

ドンフェン・モーター

# 東風汽車 (中国、H株、自動車/同部品) <http://www.dfmg.com.cn/en/index.jsp>

東風汽車集団、Dongfeng Motor Group Co. Ltd. (香港市場コード: 489、大和コード: N0489)

決算期	売上高	粗利益	税前利益	純利益
05.12	41,735 百万元	6,096 百万元	2,221 百万元	1,601 百万元
06.12	48,264 (+16%)	8,206 (+35%)	2,679 (+21%)	2,081 (+30%)
07.12	59,318 (+23%)	9,815 (+20%)	3,835 (+43%)	3,770 (+81%)
08.12(予)	68,669 (+16%)		4,505 (+17%)	3,452 (8%)
09.12(予)	77,820 (+13%)		5,136 (+14%)	3,807 (+10%)

予想はトムソン・ロイター調査。1香港ドル = 0.886元。1元 = 15.45円。6/10現在。

## 販売台数の伸びが市場規模拡大ペースを上回った 07 年 / 一時的要因除けば今年度も増益予想

### 2007 年度は一時的な要因除くと 39% 増益

中国自動車業界における三大グループの一角、東風汽車公司の中核企業である東風汽車が4月に発表した2007年度決算は23%増収81%増益。税制変更などの一時的な要因を除いたベースでは39%増益となる。2007年の中国の自動車市場規模が前年比で22%成長となったのに対し、東風汽車の販売台数の伸び率はこれを大きく上回る27%を記録。市場シェアは2006年の10.4%から10.8%へと拡大している。

### 東風日産が2012年に100万台販売計画

部門別の販売台数は、商用車が前年比22%増の31万台、乗用車は29%増の64万台と共に好調。乗用車部門は主にホンダ、日産、フランスの仏PSAプジョー・シトロエンの3社との合弁会社で構成されるが、2007年度の販売台数ではこのうち「シビック」と「CR-V」が牽引した東風ホンダが倍増と目立つ。「リヴィナ」でセダン市場における競争力を高めた東風日産も3割増と高水準の伸び。一方、東風PSAは微増に留まった。

なお、東風日産は5月28日、2012年までに乗用車で10車種以上、商用車で5車種以上の新ブランドを投入し、年間販売台数を2007年の61万台(乗用車・商用車計)から100万台に伸ばす中期経営計画を発表している。中国では可処分所得の増加や車所有者の若年化に伴い、車種の嗜好の多様化が進んでおり、こうした新型車や新ブランド車の相次ぐ投入がシェア拡大に繋がるものと思われる。

### 一時的要因を除けば2008年度も増益予想

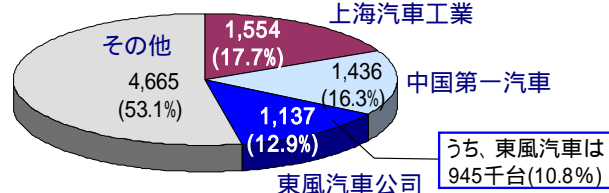
業績予想を見ると、2008年度は減益が見込まれているが、これは2007年度の純利益が税制変更の影響で押し上げられた反動と言える。この影響を除外して計算すると6%増益であり、実質的に増収増益が続くと見込まれることを勘案すると、予想PERが昨年までの10~18倍程度から7倍にまで低下している現在の水準は、割安と言えよう。(大和SMB C香港 安齋ゆきえ)

### 中国の三大自動車グループと主な合弁相手

グループ名	主な合弁相手
上海汽車工業	ゼネラルモーターズ、フォルクスワーゲン
中国第一汽車	トヨタ、マツダ、フォルクスワーゲン
東風汽車公司	日産、ホンダ、PSAプジョー・シトロエン

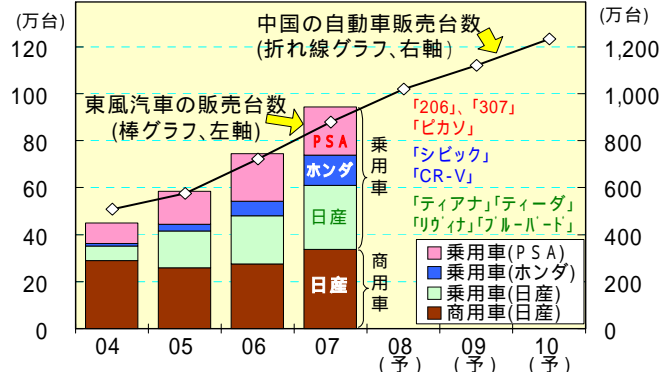
(出所)会社資料、大和総研。

### 中国のグループ別自動車販売台数とシェア



(注)単位は千台、括弧内は市場シェア。2007年。(出所)中国汽車工業協会、大和総研。

### 東風汽車の販売台数と中国自動車市場規模



(注)ブランド別の販売台数は開示されておらず、大和総研が中国汽車工業協会の統計に基づき、集計したデータに基づく。このため、東風汽車の販売台数の合計は、会社発表の数値とは必ずしも一致しない。(出所)中国汽車工業協会、予想は大和総研。

### 東風汽車の週足株価と予想PERの推移



(注) 予想PERは12ヵ月先予想一株利益を元に算出。(出所)香港証券取引所、予想はトムソン・ロイター。

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。投資にあたっての決定は、ご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、株価の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては株価変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。こうした銘柄については、外国証券内容説明書をご覧ください。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号  
加入協会：日本証券業協会、社団法人 投資信託協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、  
社団法人 金融先物取引業協会

当社と大和証券SMB C(株)とは、(株)大和証券グループ本社を親会社とする同一のグループ会社であり、かつ大和証券SMB C(株)は平成19年6月以降下記の銘柄に関する募集・売出し（普通社債を除く）にあたり主幹会社となっております。

チャイナ・ポーター・エンパイロメンタル・ソリューションズ・テクノロジー(ホールディング)カンパニー・リミテッド(1412) アルトナー(2163) ウェブマネー(2167) 雪印乳業(2262) インフォーマート(2492) ブロンコピリー(3091) スーパーバリュー(3094) 大西電気(3095) 物語コーポレーション(3097) 東京建物不動産販売(3225) 駐車場総合研究所(3251) プレサンスコーポレーション(3254) 三井鉱山(3315) ネットイヤーグループ(3622) ベリサーブ(3724) シナジーマーケティング(3859) 東山フィルム(4244) シダックス(4837) ノエビア(4916) 日本電気硝子(5214) プロデュース(6263) キトー(6409) ミマキエンジニアリング(6638) 梅の花(7604) ニホンフラッシュ(7820) 新光商事(8141) マネースクウェア・ジャパン(8728) モリモト(8899) ノエル(8947) オリックス不動産投資法人(8954) 日本ロジスティクスファンド投資法人(8967) クリード・オフィス投資法人(8983)（銘柄コード順）